

KWG-3000D-N



1. 各部の名称と説明、仕様

■ 前面 ■

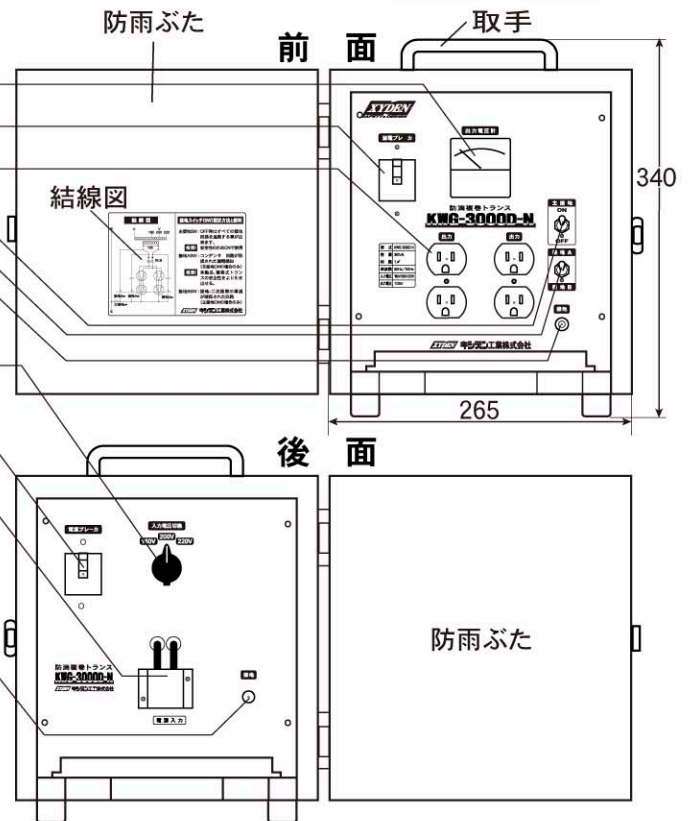
- 出力電圧計 (出力コンセントの電圧を表示します)
- 漏電ブレーカー-30A (出力電源スイッチ、ブレーカー-30A)
- 出力Wコンセント
- 主接地スイッチ (二次側全体の接地)
- 接地A・Bスイッチ (接地の種類)
- 接地ターミナル (アース端子)

■ 後面 ■

- 入力電圧切替ツマミ (180V、200V、220Vの入力電圧に合わせます)
- 入力ブレーカー-20A (入力電源ブレーカースイッチ20A)
- 入力接続端子台 (入力電源を接続)
- 接地ターミナル (アース端子)

■ 仕様 ■

- 型 式 : KWG-3000D-N
- 容 量 : 3KVA
- 相 数 : 1φ
- 周 波 数 : 50Hz/60Hz
- 入力電圧 : 180V・200V・220V



KWG-5000D-N



1. 各部の名称と説明、仕様

■ 前面 ■

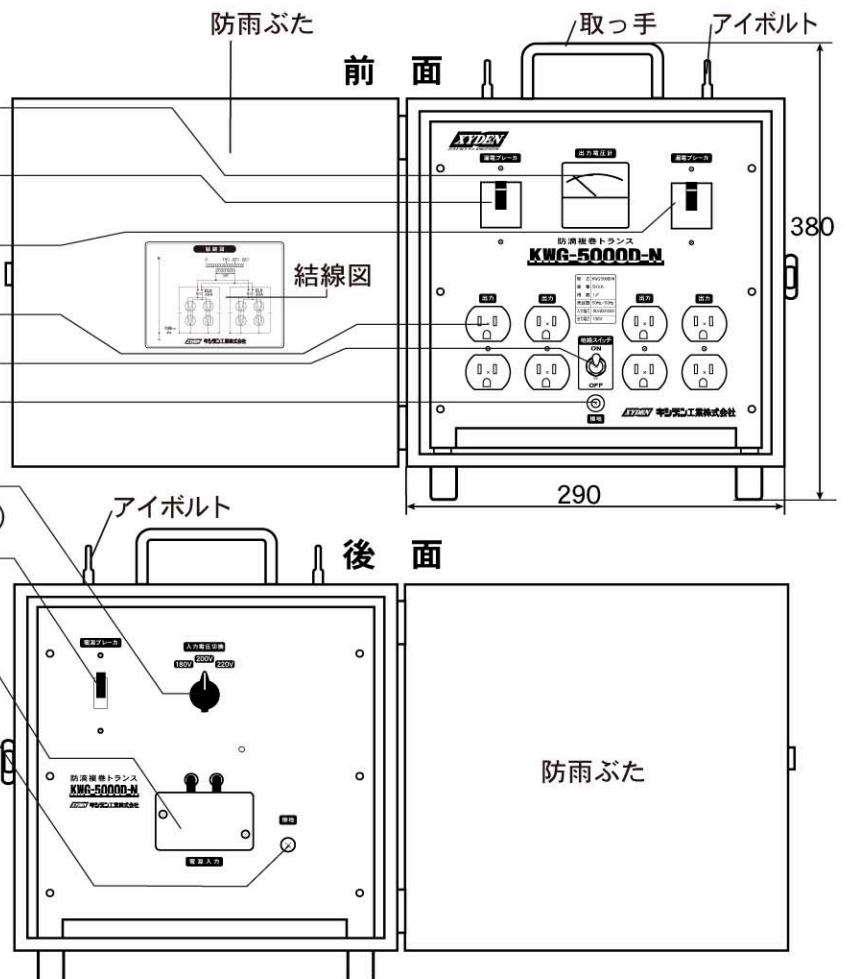
- 出力電圧計 (出力コンセントの電圧を表示します)
- 漏電ブレーカー-20A (左側出力電源スイッチ、ブレーカー-20A)
- 漏電ブレーカー-30A (右側出力電源スイッチ、ブレーカー-30A)
- 出力Wコンセント
- 地絡スイッチ (二次側全体の接地)
- 接地ターミナル (アース端子)

■ 後面 ■

- 入力電圧切替ツマミ (180V、200V、220Vの入力電圧に合わせます)
- 入力ブレーカー-30A (入力電源ブレーカースイッチ30A)
- 入力接続端子台 (入力電源を接続)
- 接地ターミナル (アース端子)

■ 仕様 ■

- 型 式 : KWG-5000D-N
- 容 量 : 5KVA
- 相 数 : 1φ
- 周 波 数 : 50Hz/60Hz
- 入力電圧 : 180V・200V・220V
- 出力電圧 : 105V



KWG-3000D-N & KWG-5000D-N *XYDEN*

2. 特 長

- ◎本製品は、複巻トランス方式を採用。漏電に対して安全性を重視した設計製作をしております。
- ◎さらにコンデンサー接地回路を内蔵し、安全性をより追求した製品となっております。
- ◎防雨タイプの外観を持ち合わせている特長なので、より安全性があり、安心です。
- ◎塗料の下地には錆止めを処理してありますので、錆や雨にも強いのが特長といえます。

3. ご使用方法

- ◎結線図に関しては防雨ぶたにあるステッカーを参照してください。
- ◎漏電ブレーカが作動した場合は、使用機械の絶縁検査を推奨いたします。
*注意：過電流によっても漏電ブレーカが作動する場合があります。
- ◎入力電圧切替器は、入力ブレーカOFF時に切替えを行うことを推奨します。
- ◎各配線接続終了後での使用時は、防雨ぶたを閉めてお使いになることを推奨いたします。

4. 入力・出力電圧

入力180V→出力105V

入力200V→出力105V

入力220V→出力105V




*注意！入力電圧切替ツマミ 180Vに200Vを入力→出力約115V

* 注意！

入力電圧切替ツマミ 180Vラインに200Vを入力してご使用になると出力は約115Vになります。ブレーカ保護が効かなくなりますので、各容量における連続使用は不可能になります。過度な昇圧機能にはご使用にならないようお願いいたします。

■危険・警告・注意

■注 意

 危険	帯電部に触れると致命的な電撃ややけどを負うことが有ります。 ・帯電部には触れないで下さい。 ・変圧器と電気機器の据付けには、有資格者が法規に従って接地工事をして下さい。 ・据付け、保守点検、修理は配線の電源を切ってから行って下さい。
 警告	変圧器は通電中、通風の良い場所に据付けてお使い下さい。 ・本体の容量に従って負荷を選択してお使い下さい。 ・変圧器以外の用途には絶対使わないで下さい。
 注意	変圧器は用途を法規に従ってお使い下さい。 ・高電圧より低電圧に変圧する場合は、仮設的法規に従ってお使い下さい。 ・本体のカバー等外したまま他目的に使わないで下さい。
・本機の据付、操作、保守点検、修理は有資格者または電気のことを良く理解した人が行って下さい。 ・変圧器を使用する場合、周囲には不用意に人が立ち入らないで下さい。	

- 本体の設置場所について
◎風通しの良いところ。
注意! 防雨タイプの外観でも、シートで覆い包むことは危険です。
◎直射日光や高温場所などを避けて下さい。
◎安全な場所に置いて下さい。
◎小児の手の届かないところに保管して下さい。
◎水や湿気などを避けて下さい。
◎火元やガソリンなどを避けて下さい。
 - 容量オーバーを避ける
ご使用の際は定格容量をオーバーしないで下さい。
 - モーターを内蔵する電気製品は、起動時に約3倍以上の電気が流れることが有ります。余裕をもった容量以内のご使用をお願いします。
 - この出力電圧と接続する電気機器の必要電圧を必ず確認して下さい。
- 定期点検のお願い
長期にわたり安全・確実にご使用していただく為に、年に一度の定期点検をお勧めします。